

多職種チームで実施した 医療安全の取り組みを発表

医療安全職員研修会

28年度 医療安全推進担当者作業グループ
活動報告

日時:平成29年2月9日(木)15:00~15:30

場所:第1会議室

対象:全職員

内容: 医療安全担当者グループ【転倒・転落、
誤薬、危険予知トレーニング(KYT)】の医療安全
取り組み成果を発表する

医療安全管理室



医療安全管理係長 山野 朋子

当院の医療安全推進担当者作業部会は、18人の多職種で構成されており、職場における医療ミスを予防するために様々な活動をしています。その中で、毎年年度末に職員への啓蒙を目的に、「医療安全取り組み成果発表会」を行っています。年度初めからテーマの選択、役割分担を行い、チーム一丸となって1年間取り組みました。

今年度は、2月9日に「間違えない、誤薬しない与薬手順」、「転倒防止策の実践」、「危険予知トレーニング(KYT)の実践」をテーマに発表しました。誤薬防止チームは、病棟の作業中断が多い環境の中、与薬準備の時に看護師2人で確実に「指差し 声だし 目で確認」を行うことを考え、取り組んだことを報告しました。転倒防止チームは、神経疾患で入院中の高齢者のADL(日常生活動作)を考慮した転倒防止策の立案、評価の状況を報告しました。KYTチームは、危険を予知する能力向上のために、医療現場の危険が潜む状況を写真に撮り、その写真を基にそれぞれの職場で職員が危険を発見・把握・解決するトレーニングを実施したことが危険予知の持続につながることを報告しました。医療現場の、多くのリスクが潜みヒューマンエラーを起こしやすい状況で、多職種で取り組み、それぞれの立場や専門領域からの意見が活発に飛び合いお互い刺激し合うことが出来ました。

こうした職種間を超えた院内全体の安全活動が患者さんへの安全・安心な療養環境の提供となるため今後も継続していきたいと思っています。

